

平成20年度 財政健全化判断比率等審査 監査委員意見

実質赤字比率および連結実質赤字比率（国民健康保険事業など全会計を合わせた赤字額の割合）については、一般会計および各特別会計とも実質収支は黒字であり、健全な財政状況であると認めました。

実質公債費比率（歳出全体に占める返済金の割合）については、早期健全化基準が25%であるのに対し13.9%であり、将来負担比率（自治体が将来に負担する債務の大きさ）についても、早期健全化基準が350%であるのに対し64.0%であり、それぞれ早期健全化基準を下回っています。

しかしながら、税収の減少等により財政規模の縮小が見込まれる中、実質公債費比率および将来負担比率ともに悪化していることから、よりいっそう財政健全化に向けた取り組みを強化するよう要望します。

（歳出全体に占める返済金の割合）
実質公債費比率は13.9%

増加

返済金割合と
債務返還義務

広野町の健全化判断比率

（単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率（前年度比）	将来負担比率（前年度比）
健全化判断比率	—	—	13.9（↑1.9%）	64.0（↑8.8%）
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

※実質赤字額および連結実質赤字額がないため、実質赤字比率および連結実質赤字比率は「—」と記載しています。



二ツ沼総合公園

財政健全化判断比率等審査とは

これまで対象としなかった国民健康保険をはじめとする特別会計や第3セクター等の不良債務なども審査対象としたもので、ひとつでも基準を超えれば、財政に問題がある自治体と見なされます。

遠藤 智議員 予算というものは、将来を見すえて、その収支をきちんと年度単位でとらえていくべきです。予算の編成にあたっては、町の振興計画に基づいて予算のあり方を見直すなど、健全財政を見すえた予算の配分方法に改めるべきではないですか。

塚越副町長 これまでの予算の作成方法や事業の立案等々を一蹴し、職員全体で検討しながら事業を推進していくような体制をつくりたいと考えています。特に事業の推進にあたっては、今後の財政運営に大きな支障をきたすことから、早急に必要な体制を確立します。

健全財政を見すえた
予算に改めよ

利用者へのサービス向上に努めよ

門馬 巧議員 海浜公園

園を利用する方が減少しているようです。

ポイントカード等の導入や送迎を検討してみていますか。

塚越副町長 ポイント

カードの問題や送迎の問題については、検討を重ねていきます。

定額給付金の見直しはどうか

渡辺久長議員 定額給

付金を受け取っていない人がいるようですが、今後の見直しはいつなっているのですか。

黒田総務課長 9月9

日の時点で未申請が30件です。

6月と9月に2回ほ

ど個人宛に通知をし、広報ひろの9月号でも「9月25日で終了します」ということをお知らせしています。

10対1で認定

平成20年度国民健康保険特別会計決算認定

反対 畑中 大子議員
国民皆保険の方針を覆しているので反対する

討論

賛成 中津 伸一議員
町民の健康を守る制度に反対などできない

9対1で認定

平成20年度後期高齢者医療特別会計決算認定

反対 畑中 大子議員
なんとしても制度を廃止させたい

討論

賛成 鈴木 紀昭議員
制度そのものの案件ではないので賛成すべき



広野町海浜公園

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位：億円)

